

インフルエンザ週報 2019年 第9週 (2月25日～3月3日)

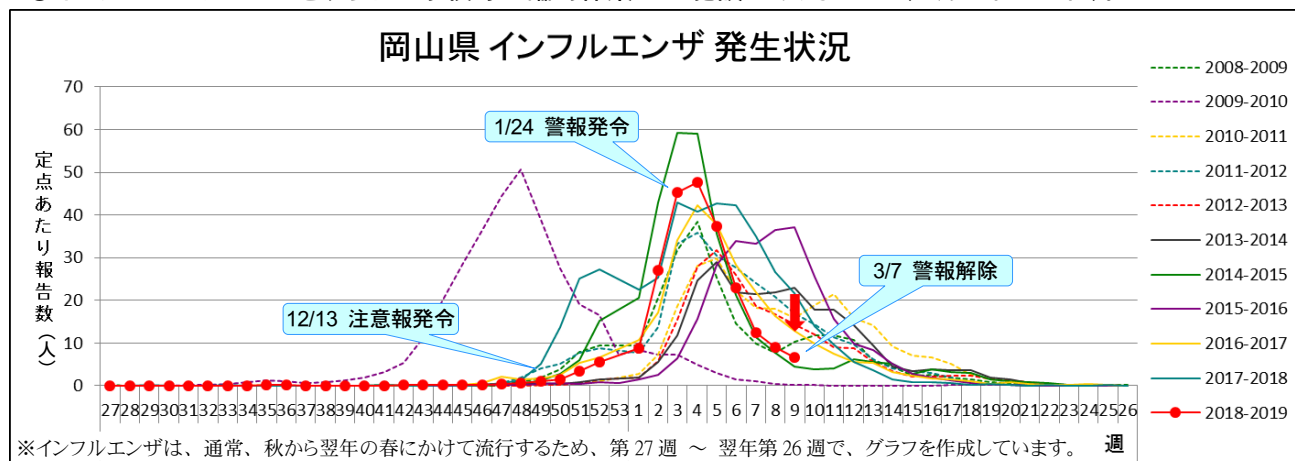
岡山県は『インフルエンザ警報』を解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えました(3月7日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 559 名(定点あたり 6.65 人)の報告がありました(84 定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 15 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 5 名の報告がありました。

【第10週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 9 施設でありました(3月4日～7日)。



インフルエンザは、県全体で 559 名(定点あたり 9.00 → 6.65 人)の報告があり、前週から減少しました。岡山県は、1月24日に発令した『インフルエンザ警報』を3月7日に解除し、『インフルエンザ注意報』に切り替えることとしました(警報の解除基準: 2週連続して、定点あたり10人を下回った場合)。地域別では、真庭地域(15.33人)、倉敷市(9.81人)、岡山市(7.59人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。備北地域と真庭地域で報告数の増加が見られ、真庭地域では発生レベル3が継続しています。第9週の学校等の臨時休業は、15施設から報告があり、前週(26施設)より減少しました。しかしながら、第10週(3/4～)速報でも、すでに臨時休業をしている施設がありますので、ひきつづき幼稚園・小学校・中学校などを中心とした集団の中での感染に注意してください。今年は、2種類のA型が同時流行していることから、インフルエンザに複数回患する可能性もあります。今後とも県内の発生状況に注意するとともに、感染予防に努めましょう。

◆インフルエンザは、まだまだ流行しています。 ひきつづき感染予防に努めましょう。

【予 防】

- ・ 帰宅後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。
- ・ 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- ・ 特に高齢者や慢性疾患を持っている人などは、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

【かかったかな? という時には】

- ・ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等へ行かないようにしましょう。
- ・ 周りの人にうつさないように、[『咳エチケット』](#)を心がけましょう。
- ・ 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- ・ 高熱が出る、呼吸が苦しいなど具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう(受診時はマスクを着用してください)。
- ・ 小児、未成年者では、インフルエンザのり患により、急に走り出す等の異常行動を起こすおそれがありますので、ご注意ください。
- ・ 予防接種を受けた人でもかかることがありますので、油断せずに注意をしましょう(予防接種を受けた場合は、受けなかった場合と比べて、かかっても軽症であるとされています)。

地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	559		備 中	患者数	56	
	定点あたり	6.65			定点あたり	4.67	
岡山市	患者数	167		備 北	患者数	39	
	定点あたり	7.59			定点あたり	6.50	
倉敷市	患者数	157		真 庭	患者数	46	
	定点あたり	9.81			定点あたり	15.33	
備 前	患者数	53		美 作	患者数	41	
	定点あたり	3.53			定点あたり	4.10	

【記号の説明】 前週からの推移

：大幅な増加

：増加

：ほぼ増減なし

：大幅な減少

：減少

大幅：前週比 100%以上の増減

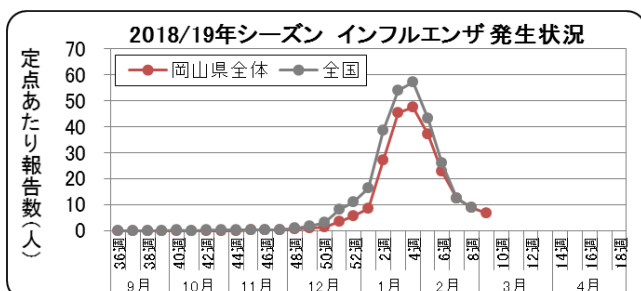
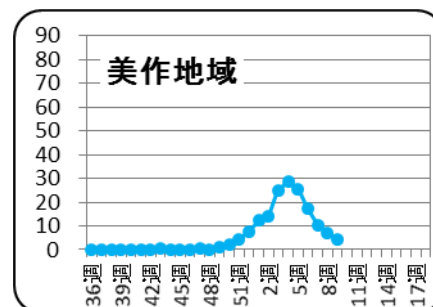
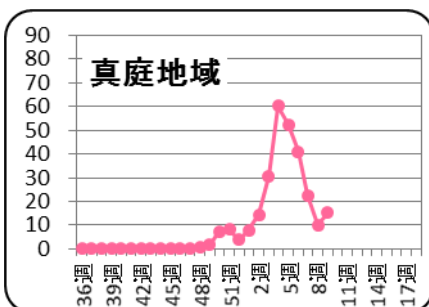
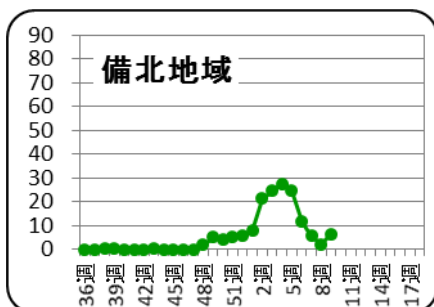
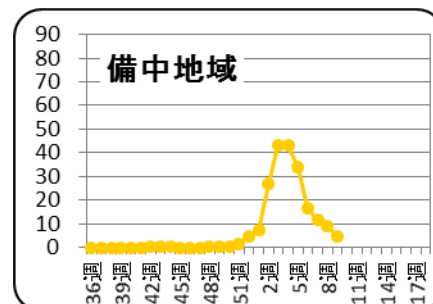
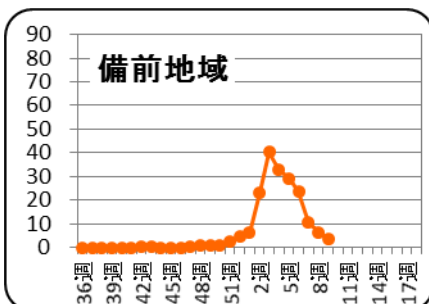
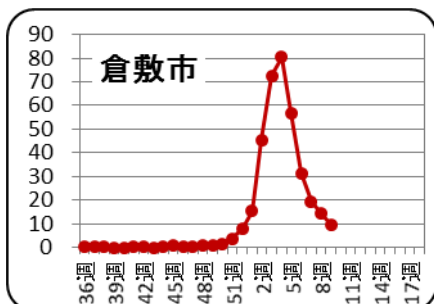
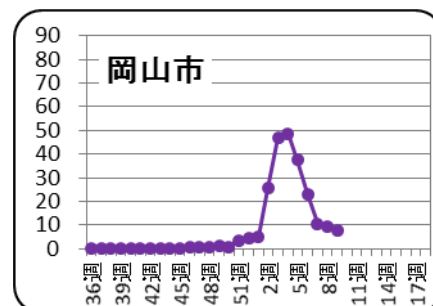
増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0 < 10 未満		0

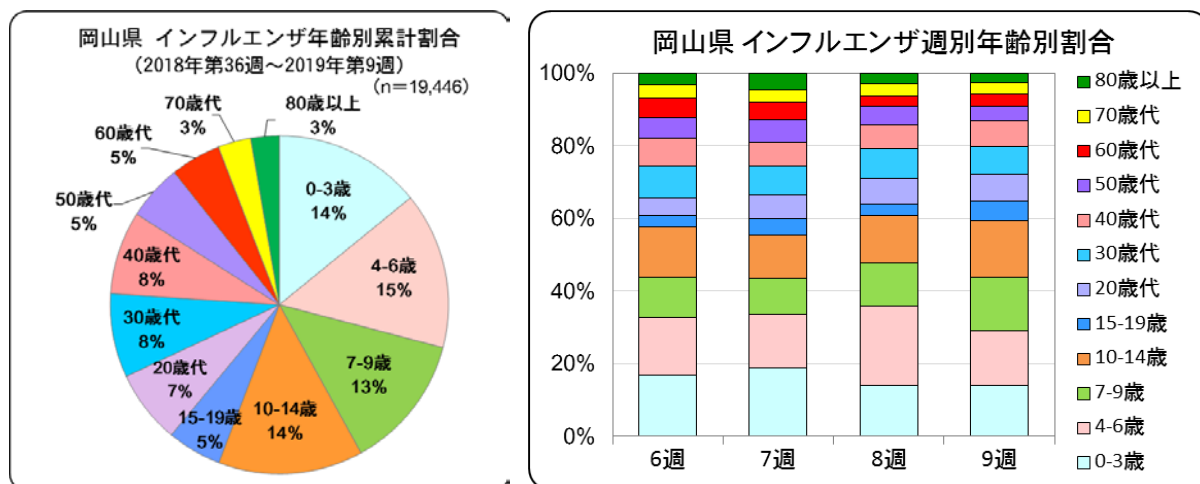


全国集計 2019 年第 8 週（2/18～2/24）速報値によると、全国の定点あたり報告数は 8.99 人となり、前週（12.49 人）から減少しました。都道府県別では、山形県（16.66 人）、福島県（16.55 人）、新潟県（15.42 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。3 県で前週の報告数より増加しましたが、44 都道府県で前週の報告数より減少しました。

[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

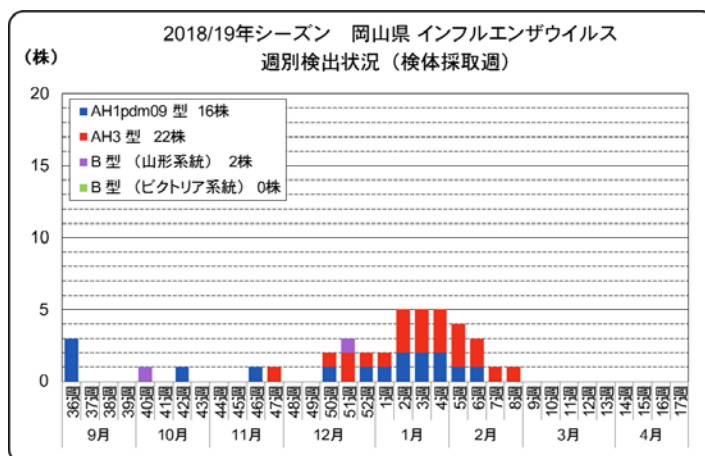
2. 年齢別発生状況

0歳から14歳までで約半数（56%）を占めていますが、広い年齢層で報告されています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

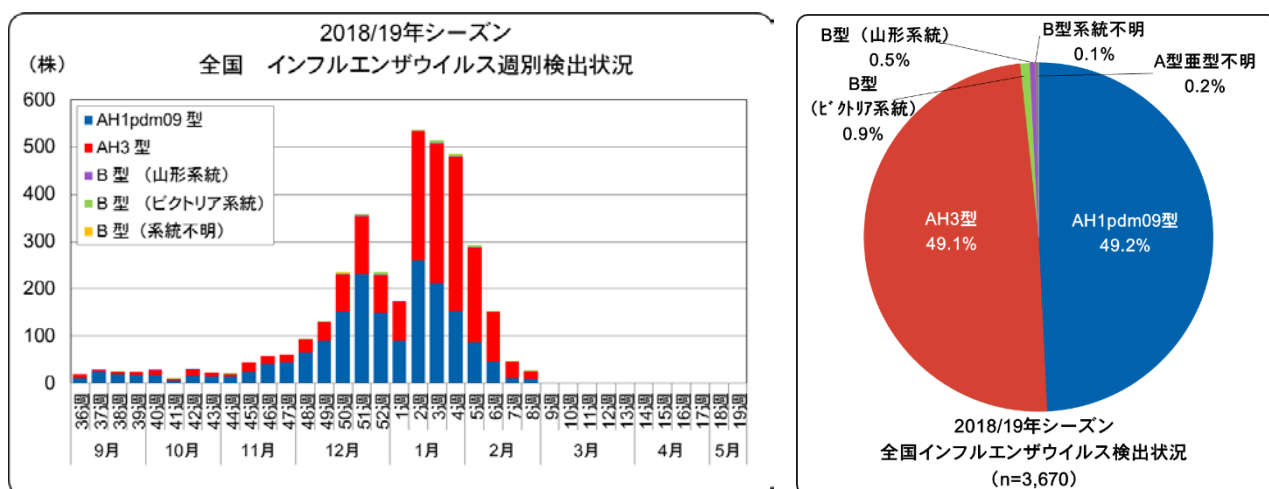
2019年第9週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは13株（詳細は下表参照）でした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは40株で、その内訳は、AH1pdm09型16株、AH3型22株、B型（山形系統）2株となっています。



ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第8週(2/18～2/24)	2019/2/19	岡山市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第7週(2/11～2/17)	2019/2/12	倉敷市	20代	女	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第6週(2/4～2/10)	2019/2/5	倉敷市	60代	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2019年第6週(2/4～2/10)	2019/2/4	岡山市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第6週(2/4～2/10)	2019/2/4	岡山市	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第5週(1/28～2/3)	2019/1/31	倉敷市	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第5週(1/28～2/3)	2019/1/29	岡山市	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第5週(1/28～2/3)	2019/1/29	倉敷市	20代	女	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2019年第5週(1/28～2/3)	2019/1/28	岡山市	30代	女	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第4週(1/21～1/27)	2019/1/26	備中	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2019年第4週(1/21～1/27)	2019/1/25	岡山市	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第4週(1/21～1/27)	2019/1/21	岡山市	40代	男	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2019年第3週(1/14～1/20)	2019/1/17	岡山市	50代	女	

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 型が 1,807 株、AH3 型が 1,801 株、B 型が 53 株（山形系統 18 株・ビクトリア系統 33 株・系統不明 2 株）、A 型亜型不明 9 株となっています（3 月 6 日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)

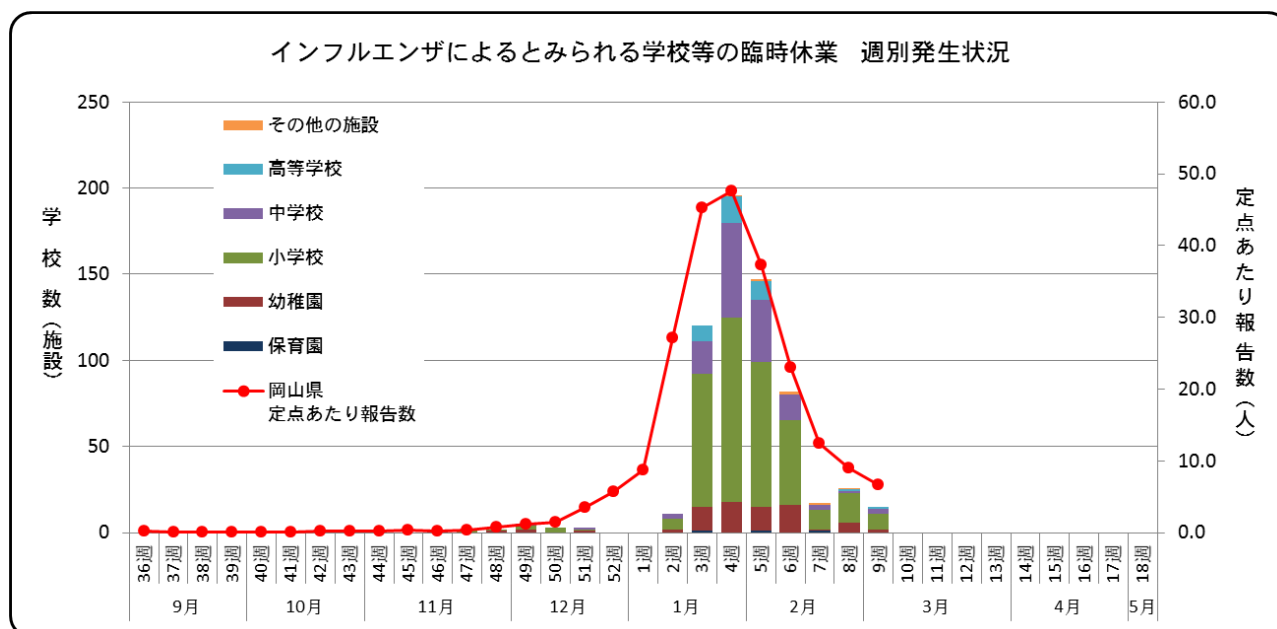


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、15 施設でありました。

【第 9 週 臨時休業施設数】

▽岡山市	3	▽倉敷市	3	▽津山市	1	▽笠岡市	1	▽総社市	2
▽新見市	1	▽瀬戸内市	1	▽真庭市	1	▽浅口市	2		



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち 欠席者数		施設数合計		休園・ 休校数		学年閉鎖 施設数		学級閉鎖 施設数		初発 年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県 全体	153	9047	142	7340	15	632	0	11	1	143	14	478	H30.9.26
岡山市	39	3910	30	3114	3	252	—	—	0	20	3	232	H30.9.26
倉敷市	30	2015	29	1733	3	139	0	1	0	22	3	116	H30.11.12
備前地域	16	754	15	644	1	60	0	1	0	23	1	36	H31.1.10
備中地域	39	1182	39	995	5	102	0	2	0	37	5	63	H30.12.13
備北地域	8	134	8	91	1	12	0	1	0	8	1	3	H31.1.15
真庭地域	4	225	4	162	1	13	0	2	1	7	0	4	H31.1.17
美作地域	17	827	17	601	1	54	0	4	0	26	1	24	H30.12.6

2) 臨時休業施設数の内訳

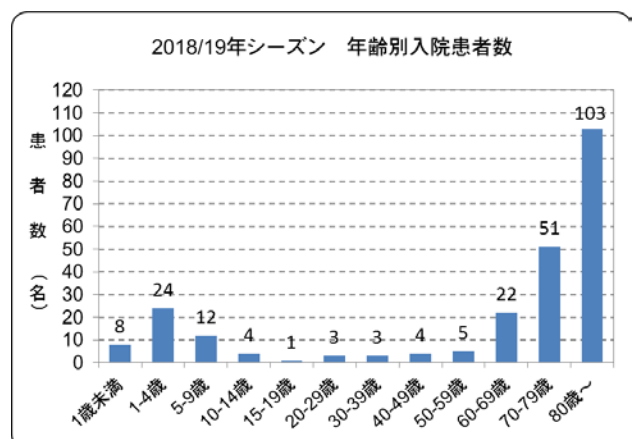
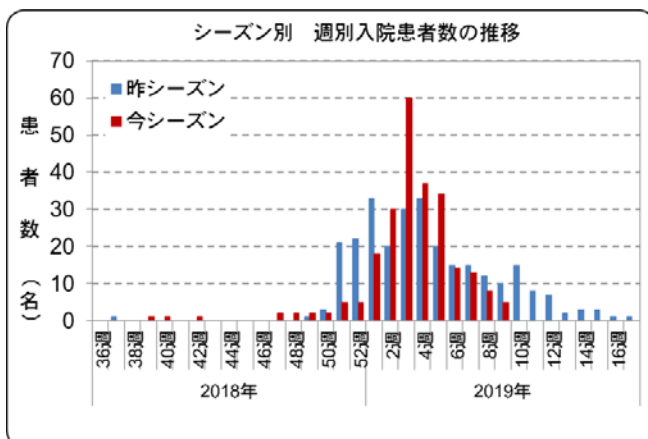
第9週：15施設

累計：632施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	3	2	78	9	370	3	138	1	37	0	6

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、5名（1歳未満1名、1-4歳1名、80歳以上3名）の報告がありました。幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第9週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	1										3	5
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*		1											1
頭部MRI検査(予定含)*		1											1
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず	1											3	4

【2018年9月3日以降に入院した患者の累計数】

* 重複あり

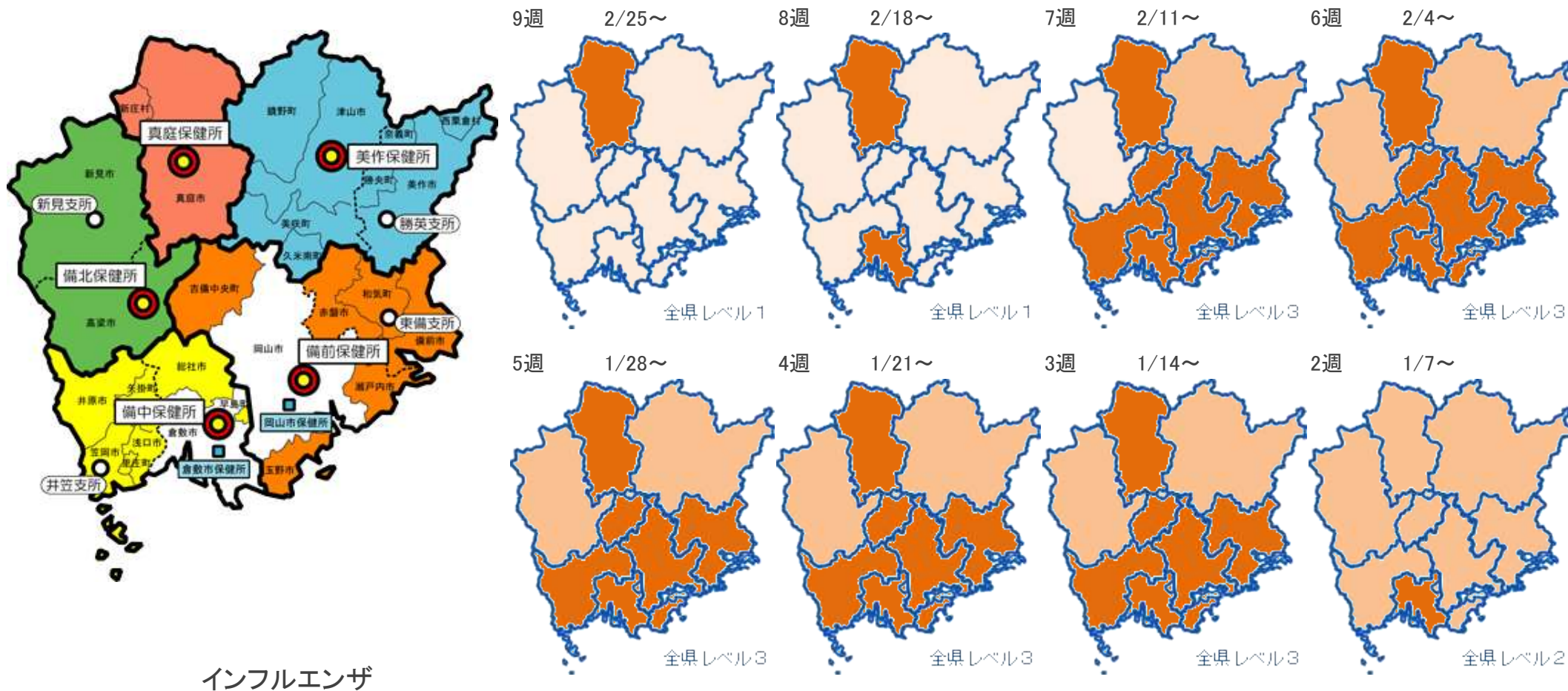
年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
入院患者数	8	24	12	4	1	3	3	4	5	22	51	103	240
ICU入室*		1						1		1	3	2	8
人工呼吸器の利用*		2						1		1	1	7	12
頭部CT検査(予定含)*		3	1			1				4	4	6	19
頭部MRI検査(予定含)*		4	3	1	1			1			4	1	15
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず	8	18	8	3		2	3	2	5	17	43	91	200

* 重複あり

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[平成30年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

[インフルエンザ 関連情報 2018/2019 シーズン インフルエンザワクチン株 \(国立感染症研究所\)](#)



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。